

キュウリ ココバッグ栽培試験 始まりました！

ココバッグを使ったキュウリ養液栽培試験が今年も始まりました。

1反年間収量40トン超を目標に今年も栽培を行います！

今回は改めてキュウリココバッグ栽培の概要と、今作の試験内容をご紹介します。



ココバッグ栽培の栽植密度は？

⇒1バッグ2株定植 1反あたり約450バッグ設置可能なので約900株/反

⇒1株あたり子つる4本仕立てを標準として、つる数は約3600本/反



使用する肥料は？

⇒ココバッグ栽培専用肥料「濃縮トマトS」を使用。

*キュウリに使用する場合はA液・B液の投入濃度を調整します。（詳しくはお問い合わせください）



収量はどのくらい期待できる？

⇒2023年度試験では2023年10月～2024年6月までの9カ月間で株あたり

約42kg（1反換算 約37.8トン）の収量でした。



2023年度試験の様子



誘引はタキゲン製造㈱
「パケットクリップ」を使用

今年度は、ココバッグ+つる下ろし栽培に適する品種の検討 をテーマに、各育種会社から穂木品種8種類・台木品種4種類を同時に栽培し、生育や収量を比較します！

【2024年度作 耕種概要】

播種：2024/9/9 定植：2024/10/2 ココバッグ栽培（肥料：濃縮トマトS）

子つる4本仕立て ハイワイヤーつる下ろし栽培

予定栽培期間：2024/10月～2025/4月⇒改植⇒2025/4月～2025/9月

試験品種一覧と特性（育種メーカー公表）

【穂木品種】

- ・ **S-40** ・ **S-50** ・ **710**（㈱埼玉原種育成会） ハイワイヤーつる下ろし栽培向きの試作品種
- ・ **ネクスター2号改良**（㈱久留米種苗園芸） 黄化えそ・退緑黄化・うどんこ・褐斑病 複合耐病
- ・ **ノエボ**（㈱久留米原種育成会） 越冬つるおろし・半促成・抑制栽培向け
- ・ **レーヴ**（㈱ときわ研究所） 雌花率高く、低温期でも肥大が安定
- ・ **Aikido RZ**（ライクスワーン社） 日本市場向けのイボ有タイプ 着果性が極めて良い
- ・ **24-HT024**（同上） 加工向けイボ無し品種 ハイワイヤー栽培向け

年明けにキュウリ試験の見学会を計画していますので、気になる方はぜひお越しください！詳しくはトヨタネHPまたはLINE・インスタグラムで告知いたします！